


城西地区

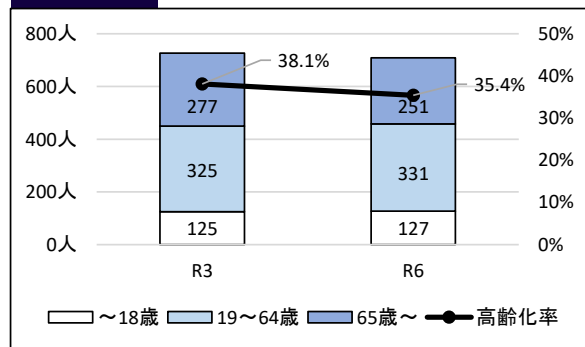
◆概要

	【位置図】	まち協名	城西地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市西丸町553-1	電話	0595-82-8495
		地区構成	西丸町 市ヶ坂町 若山町 西町 南崎町		
		地域特性	<p>亀山市の中央からやや東に位置し、亀山駅、市役所、小学校、中学校に徒歩圏内と近く、住みよい地区です。西町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、万町、南崎町、西丸町、市ヶ坂町、若山町、若山住宅、リアルタウン亀山の自治会から成っています。城下町であり、旧東海道が東西に延び、かつては宿場町が形成され賑わっていたようです。亀山市文化財に指定されている加藤家長屋門及び土蔵があり、また、歌川広重の「保永堂版東海道五十三次雪晴」に描かれた京口門跡があります。</p>		
面積	49.2ha	ホームページ	https://jousei443327939.wordpress.com/		
めざす姿	地域の良さを活かし、人々がふれあい、支え合うまち				
地域の誇り	地域、世代間のつながりを深めるさまざまな行事や歴史・文化、自然環境を守る事業に取り組んでいる				

◆人口

	令和3年	令和6年	増減	
総人口	727人	709人	-18人	
人口密度	14.79人/ha	14.43人/ha	-0.37人/ha	
65歳以上	人口	277人	251人	-26人
	比率	38.1%	35.4%	-2.7%
18歳以下	人口	125人	127人	2人
	比率	17.2%	17.9%	0.7%
外国籍	人口	18人	28人	10人
	比率	2.5%	3.9%	1.5%

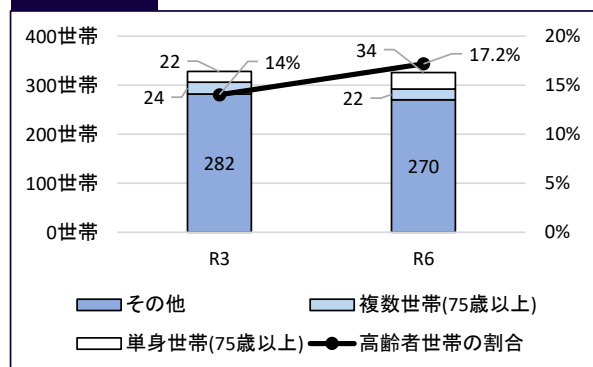
◆人口推移



◆世帯

	令和3年	令和6年	増減
総世帯	328世帯	326世帯	-2世帯
単身世帯 (75歳以上)	22世帯	34世帯	12世帯
複数世帯 (75歳以上)	24世帯	22世帯	-2世帯
高齢者世帯割合	14.0%	17.2%	3.2%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	令和3年	令和6年	増減
要支援1.2	28人	28人	0人
要介護1～5	40人	37人	-3人
合計	68人	65人	-3人

◆地域組織

	令和3年	令和6年	増減
自治会	11	11	0
老人クラブ	1	2	1
子ども会	1	1	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	2
主任児童委員	1
福祉委員	10
介護保険施設・事業所	1
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・一般診療所	2
歯科診療所	0
薬局	1
保育所	1
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	1
乗り合いタクシー停留所	19

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	令和3年	令和6年	増減
ふれあいいきいきサロン	1	1	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	1	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

三世代交流事業としてお楽しみ会を開催し、高齢者から子どもまでが交流を行っています。

【訪問活動】

80歳以上一人暮らし高齢者宅に年2回戸別訪問を行っています。



ゴキブリ駆除団子作成配布



グラウンドゴルフ大会

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・親睦旅行
- ・ゴキブリ駆除団子作成配布
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・子ども花火大会
- ・納涼祭
- ・敬老会
- ・運動会
- ・文化祭
- ・お楽しみ会
- ・三世代ふれあい交流食事会

◆生活支援コーディネーターからのコメント

城西地区の人口は市内で5番目に少ない709人で、そのうち35.4%にあたる251人が65歳以上です。地域内326世帯のうち、17.2%にあたる56世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の3.9%にあたる28人が外国籍です。

地域の特色として、徒歩圏内に駅や学校があり、住民が通勤・通学しやすい環境です。また、ショッピングセンターや金融機関が立地する市中心街へアクセスしやすく、生活の利便性が高い地域と言えます。

地域活動として、三世代交流に重点を置いて取り組まれており、年3回のグラウンドゴルフ大会には毎回、子どもから高齢者までたくさんの住民が参加しています。さらに、三世代ふれあいお楽しみ会ではレクリエーションの他、防災講座や防災食の配布を行い、住民の防災意識の向上を図られています。また、高齢者の集いの場である「城西サロン」は、毎月各自治会の回覧板で周知を行い、誰でも気軽に参加できるよう工夫されています。今後も現在、力を入れている三世代交流やサロン活動を継続し、さらに住民同士がお互いに支え合えるしくみづくりが構築されていくことが期待されます。